



認定: サプライチェーンの価値を高める



世界認定推進の日

2019年6月9日

(#WAD2019)

認定：サプライチェーンの価値を高める

何が問題なのか？

- 企業は長年にわたって世界中から調達された物品を使って商品を生産してきましたが、今やサプライチェーンは（物流の）スピード、規模、奥行、世界的な関係の広がりなどで格段に複雑になってきています。
- サプライチェーンと小売市場のグローバル性とは、企業が複数の規制環境、しばしば異なる規制環境で活動しなければならないことを意味しています。
- 品質の決定、原材料や部品の信頼性の決定、そしてトレーサビリティの決定には、信用できて信頼する価値のある情報が必要となります。
- 技術革新が加速し製品のライフサイクルが短くなるにつれて市場の予測不能性は高まり、サプライチェーンにかかる圧力も増えています。
- 企業は、データセキュリティの侵害やシステム障害によるリスクや混乱にさらされる可能性を何とかしのぐ必要があります。
- 持続可能なサプライヤーを効果的に選択することは、財務の安定性だけでなく、企業の社会的責任（CSR）能力と倫理的慣行にも及びます。

企業が柔軟性を保ちつつコストを最適化しようと努めることにより、製品のサプライチェーンはますますグローバル化し、複雑になっていきます。複数の国や現場に跨るサプライチェーンは、品質、安全性に関わる規則・基準の順守という点でも、環境的・社会的責任という点でも大きな課題をもたらしています。

調達は多くの場合、企業支出の最大70%を占めています（出典：チャータード調達供給協会）。したがって、いかなる中断も収益性、ブランド価値、および顧客ロイヤリティに影響を与えることとなります。

認定の役割とは？

認定は、試験、校正、認証、検査等の適合性評価サービスを提供する組織の技術的力量、完全性、公平性を決定します。企業は、自社製品が技術的仕様を満たしており、安全に使用できるという信頼性の水準を維持しつつ、価値を最大化し、契約条件を満たそうとしているため、国際的に合意された規格によって裏打ちされた認定は、サプライチェーンの価値を高めます。

取引の80%は試験、校正、検査、認証といった活動（適合性評価と総称される）に関わっています（情報源：OECD）。認定とは、それら適合性評価機関の公平性、力量、一貫性を確信するため、広く認知されている規格に対して当該機関を独立して評価することです。

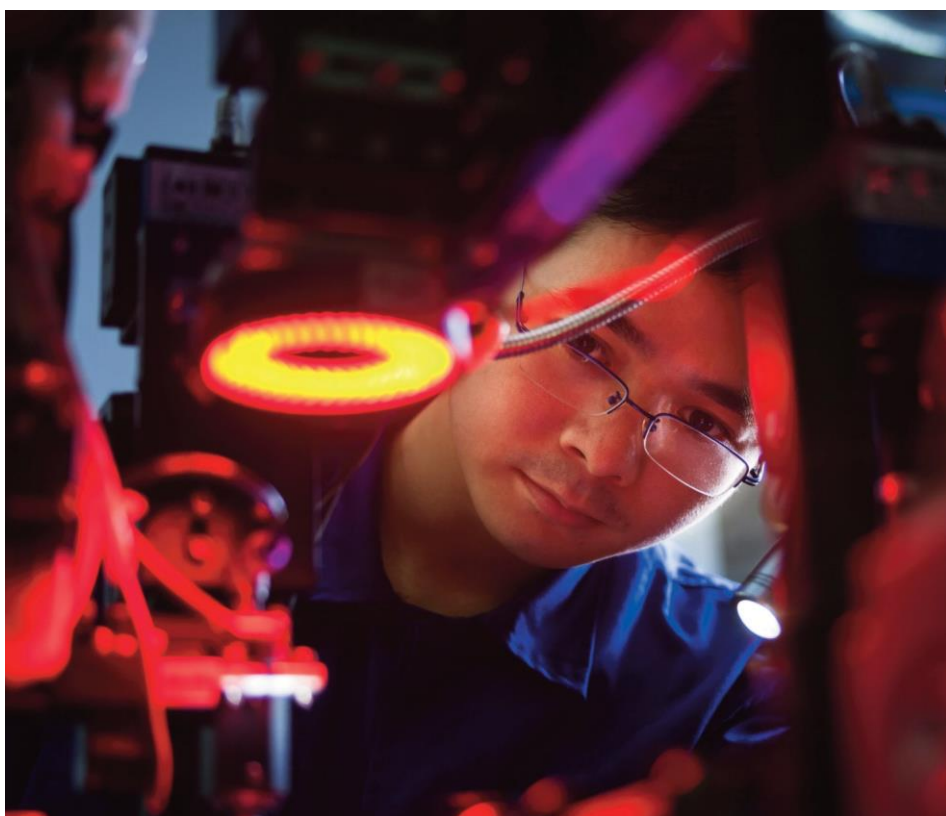
それゆえ認定は、取引コストや営業コストの削減、技術移転の拡大、投資の増大に重要な役割を果たします。また、企業は、取引相手との信頼関係の確立に必要な製品

の品質を共通の「技術用語」を通じて表明できるため、自社の事業を世界的なサプライチェーンに統合させることが可能になります（情報源：世界銀行）。世界貿易機関の経済調査統計部が作成した報告書によれば、不適切な適合性評価の使用は「特定の貿易上の関心事項(STCs)」の10%を占めているといえます。認定は、こうした問題に対処する機会を提供しています。

ケーススタディ

イギリスの地方自治体

イギリスの地方自治体は、自治体内の地所のアスベスト調査を実施する際に、認定を取得した調査業者を利用しています。ISO/IEC 17020認定は、当該調査業者の力量、独立性及び公平性を確実にしています。これにより自治体は注意義務とサプライヤー選択に関して、修正不要の信頼性のある報告書が提出されると確信を持つことができます。



サプライチェーンに信頼を与える

今日のサプライチェーンの複雑さを考えると、司法や市場において実施されている計測、試験、検査及び認証に対する不安を取り除くことは大変重要です。一定の信頼性が確保されなければ、モノとサービスの自由な流れが技術的障壁や粗悪な製品により阻害されたり、製品の品質にばらつきが生じたりする危険性があり、これが輸入者や消費者へのコスト増につながります。サプライチェーンの複雑さにより、政府や規制当局が治安や市民の健康を守るために必要となる試験所による試験、検査及び認証を全て実施するために、法外な費用がかかってしまいます。この解決策として、近年続々と政府が導入しているのが、コンプライアンスを証明するために満たすべき要求事項や用いるべき手順を明文化した規制を確立することです。この規制には、コンプライアンスのプロセスの検証を実施するための承認を得るといふ、市場における提供者に対する選択肢が提供されています。

試験、認証や検査といった活動を含む適合性評価は、製品やサービスが規格や技術仕様書の要求事項を満たしているか検証するために用いられます。適合性評価は、第一セクター（公共部門）においては、法令事項の順守を証明し、第三セクター（非営利部門）では、消費者及び輸入者が調達する製品やサービスが仕様を満たしていることを保証しています。

大半の適合性評価機関は民間の組織であることから、認定は適合性評価機関の技術的能力を評価及び証明し、その試験データや試験結果に信頼性を与えます。



国際間の承認によるサプライチェーンへのサポート

認定機関は、試験所、検査機関及び認証機関が、能力のある機関の監視を受けることを確実にすること目的として設立されています。国際的に認められた認定機関は、同等の能力を有する機関による評価を受け、国境を越えて製品及びサービスが受け入れられることを促進する国際的な取り決めに署名します。これにより、貿易、規制当局の承認プロセス及びサプライチェーンの信頼性をサポートする世界的なインフラが形成されます。

この取り決めは、世界のGDPの96%を占める経済圏（出典：世界経済フォーラム）に広がっています。国際認定フォーラム（IAF）が認証機関の認定分野の、国際試験所認定協力機構（ILAC）が試験機関及び検査機関の認定分野の取り決めを管理しています。この仕組みにより、認定機関が実施した業務が世界中で同等であることを保証し、各認定機関が国際規格を維持することに役立っています。

その結果、一度IAF及びILACの取り決めの範囲内にある試験、検査、認証を受けた製品やサービスは、世界中どこでも同等の信頼性をもって受け入れられます。したがって、認定は情報格差やグローバル・バリュー・チェーンの担い手の間に起こる不一致を軽減し、国際貿易相手

間におけるグローバルなコミュニケーションの手段として機能しています。

イギリスの経済ビジネスリサーチセンター（CEBR）が行った調査によると、61億ポンドのイギリスからの追加の輸出が規格によるものであり、毎年適合性評価の認定を受けていることがわかっています。また、購入する製品が安全で目的にかなっているために、より多くの場所で受け入れられると、調達を行う者からの信用を得ています。この仕組みにより、国家間の貿易における恣意的な技術的障壁が取り除かれ、複雑かつ多国籍なサプライチェーンの全ての段階において信頼性と透明性が向上します。

ケーススタディ

サプライチェーン・セキュリティマネジメントシステム認証（SCSMS）

認定機関は、ISO28000に基づき、適合性評価機関のサプライチェーン・セキュリティマネジメントシステム認証を提供する能力を審査します。

本規格は、サプライチェーンの安全性保証にとって極めて重要な側面を持つセキュリティマネジメントシステムを、組織が確立し、実施し、継続的に改善することを要求しています。当マネジメントシステムの側面には、テロの脅威、詐欺や著作権侵害といったビジネスに深刻な影響を与えるリスクも含まれています。

受け入れの拡大

近年、認定の有用性がますます認知されるようになり、政府機関や規制当局による取り決めの受け入れが増加傾向にあります。

例えば、欧州連合（EU）が日本、カナダ、スイス及びチュニジアと署名した貿易協定には、調和のとれた自由貿易を確実にするために、認定を受けた適合性評価機関を利用することが言及されています。湾岸協力理事会（GCC）は単独の市場規制システムを運営しており、認定を規制制度の実施のために必要不可欠なツールであると言及しています。また、第三者認証機関の能力を確実にするために全ての規制において認定が用いられています。アジア太平洋経済協力（APEC）では、APEC協定の適合性評価における構成要素の根拠として、認定が推奨されています。東南アジア諸国連合（ASEAN）の電気設

備及び電子装置分野の相互承認取決め/国際相互承認（MRA）において、認定は特定の要求事項を満たしているか証明するための手段とされています。認定の受け入れが、地域機関だけでなく、各国政府にある国内規制当局においても主流になっており、これはWTO参加国政府がTBT協定やSPS協定に基づく義務を果たすうえでも役に立っています。

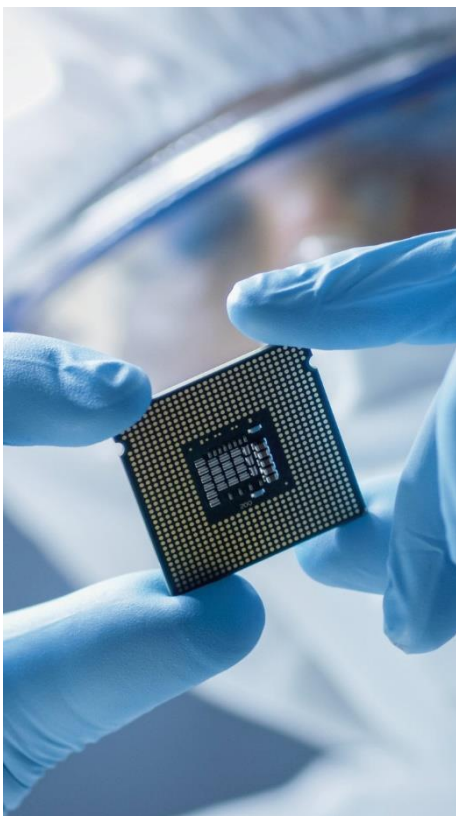
認定の利用は他の地域でも認知されています。イギリスでは、英国取締役協会が、認定を受けたISO9001の認証書を、経済圏をその成果でランク付けするグローバル・イノベーション・インデックスと同様、グッドガバナンス年次報告の指標とみなしています。保険とリスクマネージャー協会（AIRMIC）が発行した最新の報告書では、認定の価値はリスクに値をつけることであると認識されています。

認定業務:

サプライチェーンの価値を高める

認定は、ヘルスケアから医療機器、建設、エネルギー、衣料品、繊維、おもちゃ、電子機器、ITコミュニケーション、食品安全、上水道に至るまで、サプライチェーンのあらゆる領域で機能しています。

認定は、認証、検査、試験及び校正サービスの審査を通じて、サプライチェーンの潜在的リスクを管理し、付加価値を与えるサービスを提供します。これらの組織の力量、公平性及び能力を証明することが、製品及びサービスの信頼性の根拠になり、購買マネージャー及びサプライチェーンマネージャーがよりよいリスク管理をすることが可能となります。



ケーススタディ

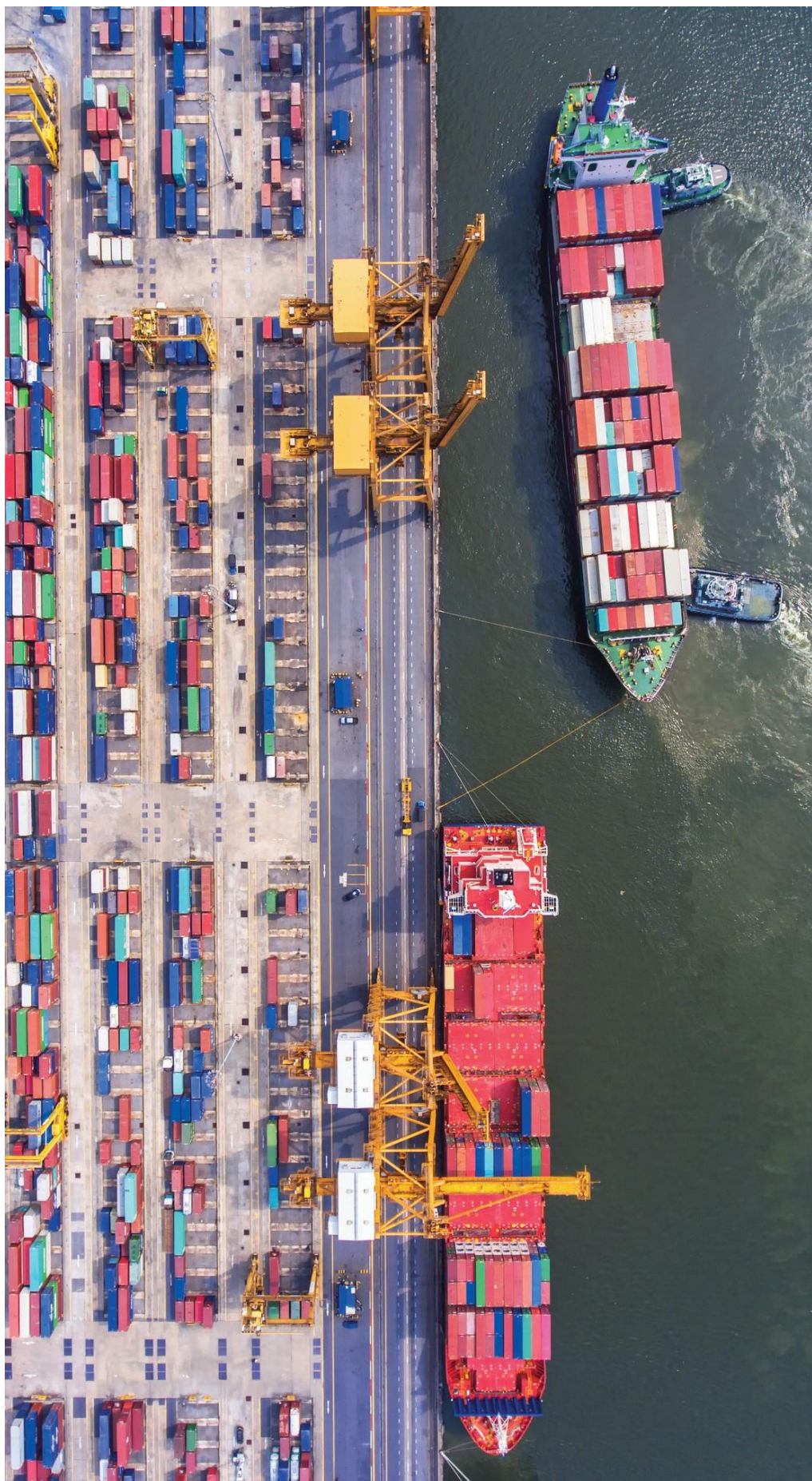
Intermarché におけるサプライチェーンの品質とトレーサビリティ

フランスのスーパーマーケットチェーンの Intermarché は、自身のサプライチェーンの中の全ての卸売業者、原材料及び生産地を特定、分析及び監視することができるプラットフォームを利用しています。このプラットフォームには41カ国から4,200以上のあらゆる水準の卸売業者が関わっており、これらの業者の環境及び品質の認証が収集されています。そして、サプライチェーンに関わる全ての組織の対応関係の明確化、卸売業者の認証書の収集・検証、各卸売業者の工程管理に基づいた確かな助言や提案を可能にしています。

これにより、Intermarché は、生産者及び小売業者として、製品の由来を特定しリスクを低減することができるようになっています。



調達担当者を支援する



サプライヤーを見つけるには

世界認定推進の日に先駆けて立ち上げられるIAF “CertSearch”は、調達担当者を支援するツールです。このプラットフォームには現在、認定された適合性評価機関による70万件のマネジメントシステム認証が登録されており、購買者はサプライヤー候補者がマネジメントシステム認証を取得しているかを確認することが可能です。また、認定された適合性評価機関による認証と、認定されていない適合性評価機関による認証とを区別し、また認証書が本物であるかを確認することにも役立ちます。

www.iaf.certsearch.org

ケーススタディ

調達に関する安全スキーム

SSIP (Safety Schemes In Procurement: 調達に関する安全スキーム)は、事前資格審査を簡素化し、サプライチェーンにおける安全衛生評価にかかる経費と煩雑な手続きを削減することによって、中小企業を支援することを目的としたフォーラムです。

大手請負会社又は事業者団体等によって運営されている安全衛生評価スキームなど、第三者安全衛生評価スキームであれば、SSIPへのメンバー登録が可能です。メンバー登録すると、他の登録メンバーのスキームとの間、及び既存のUKAS SSIPセクタースキームを通じた適合性評価機関との間においても、相互承認による利益を得られます。

SSIPのポータルによれば、フォーラムメンバーが開始した相互承認協定によって、2016年以降1億2,400万ポンド以上の節減につながったことが確認されています。SSIPスキームを通じて、調達責任者は労働安全評価プロセスによって検証された71,000以上もの組織にアクセスが可能になります。認定は法令遵守を検証し、メンバーのスキーム間の一貫性を支えています。

さらに詳しい情報

認定は、企業の内部業務のリスクだけでなく、市場にある製品やサービスのリスクをも評価し、管理するための世界的に認められたツールを提供します。このことにより、規制当局、購入者、従業者は、認定がより安全な世界を提供していることに対する信頼を示すことができます。

安全衛生方針の提供における認定の利点に関する研究、事例研究及び補足情報にアクセスするには、
<http://www.publicsectorassurance.org/topic-areas/health-safety/>を参照してください。

規格及び認定がビジネスにとって有益となる事例については、www.business-benefits.orgを参照してください。



The ILAC Secretariat

Phone: +612 9736 8374

Email: ilac@nata.com.au

Website: www.ilac.org



@ILAC_Official



<https://www.youtube.com/user/IAFandILAC>



The IAF Secretariat

Phone: +1 (613) 454 8159

Email: iaf@iaf.nu

Website: www.iaf.nu



@IAF_Global



<http://www.linkedin.com/company/international-accreditation-forum-inc>



<https://www.youtube.com/user/IAFandILAC>